

平成 26 年（1 月～12 月末）の労働災害発生状況について

1 労働災害発生状況

(1) 概況

ア 前年同期との比較

	平成 26 年 1 月末	平成 27 年 1 月末	増減 (率)
死亡災害 (人)	987	1,004	17 (1.7%)
死傷災害 (人)	112,840	113,972	1,132 (1.0%)
重大災害 (件)	189	265	76 (40.2%)

イ 先月末との比較

	平成 26 年 12 月末	平成 27 年 1 月末	対前年増減率の推移
死亡災害 (人)	969	1,004	1.5% → 1.7%
死傷災害 (人)	106,674	113,972	0.9% → 1.0%
重大災害 (件)	254	265	41.1% → 40.2%

ウ 近年の同月との比較（1 月（1 ヶ月間に登録されたもの）の労働災害件数の経年推移）

	平成 24 年	平成 25 年	平成 26 年
死亡災害 (人)	38	32	35
死傷災害 (人)	6,692	7,093	7,298
重大災害 (件)	21	9	11

(注：平成 27 年 2 月 7 日までに入力した速報値である。)

(出典：死亡災害報告、労働者死傷病報告、重大災害報告)

(2) 死亡災害

ア 業種別発生状況

建設業（366 人）、第三次産業（237 人）、製造業（173 人）、陸上貨物運送事業（122 人）の順で多く発生している。

イ 事故の型別発生状況

「墜落・転落」(254人)、「交通事故(道路)」(225人)、「はさまれ・巻き込まれ」(150人)の順で多く発生している。

ウ その他

全産業の死亡災害の前年同期の増加率は先月に比べて1.5%から1.7%に拡大している。業種別の先月末からの前年同期の増減率で比較すると、製造業では▲10.9%から▲9.9%に減少幅が縮小している。また、建設業では10.8%から9.3%に増加幅が縮小しており、陸上貨物運送事業では29.0%から25.8%と増加幅が縮小している。

(3) 死傷災害(休業4日以上)

ア 業種別発生状況

第三次産業(49,375人)、製造業(26,375人)、建設業(16,582人)、陸上貨物運送事業(13,659人)の順で多く発生している。

イ 事故の型別発生状況

「転倒」(25,647人)、「墜落・転落」(19,744人)、「はさまれ・巻き込まれ」(14,728人)の順で多く発生している。

ウ その他

全産業の死傷災害の前年同期の増加率は先月に比べて0.9%から1.0%に拡大している。業種別の先月末からの前年同期の増減率で比較すると、第三次産業では1.2%から1.5%に増加率が拡大し、製造業では1.6%から1.5%に増加率が縮小し、建設業では0.2%から▲0.1%と減少に転じ、陸上貨物運送事業では▲0.3%から0.1%と増加に転じている。

(4) 重大災害(一時に3人以上の死傷者を伴う災害)

ア 業種別発生状況

建設業(119件)、第三次産業を中心としたその他の事業(75件)、製造業(53件)の順で多く発生している。

イ 事故の型別発生状況

「交通事故」(132件)、「中毒・薬傷」(46件)、「その他」(39件)の順で多く発生している。

ウ その他

重大災害の発生件数は、全産業において265件で、前年同期に比べて76件、40.2%増加し、先月の41.1%増加に対して増加幅が縮小している。建設業において119件で、前年同期に比べて41件、52.6%増加し、先月の45.6%増加に対して増加幅が拡大している。製造業において53件で、前年同期に比べて23件、76.7%増加し、先月の84.6%の増加に対して増加幅が縮小している。